

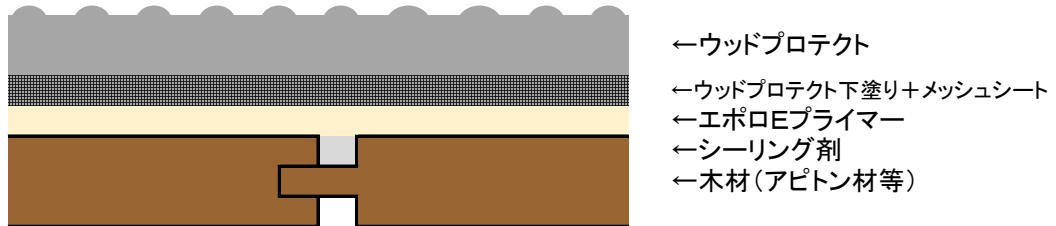
ウッドプロテクト工法(凹凸仕上げ) 施工仕様書

材 質 名 : 無溶剤2液型硬質ウレタン樹脂塗料
工 法 : ウッドプロテクト工法(凹凸仕上げ)
用 途 : 大型車両木部の保護

1. 概要

「ウッドプロテクト工法」は、大型車の荷台に使用される木材の保護を目的とした工法です。荷台は過酷な使用環境であるため、一般的な木材は劣化するため交換が必要となります。本工法を施工することで、木材の耐久性・耐磨耗性を向上させ、木材の長寿命化に繋がります。

2. 塗装工程図



3. 標準施工仕様(凹凸仕上げ)

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下地 処理	【新設の場合】 ・ 木部が雨などで濡れている場合は十分に乾燥させてください。 ・ 施工前はゴミ・塵・埃などを除去し、清浄な下地面としてください。 【既設の場合】 ・ 木部が雨などで濡れている場合は十分に乾燥させてください。 ・ ひび割れ・欠損・段差等はあらかじめ補修してください。 ・ 施工前はゴミ・塵・埃などを除去し、清浄な下地面としてください。					
シーリング 処理	シーリング剤	1成分型	既調合	適量	コーキングガン ヘラ 等	シーリング剤 の乾燥時間
プライマー 処理	エポロEプライマー	A液:B液 1:1	無希釈	0.2	ローラー	30分以上
下塗り	ウッドプロテクト	A液:B液 5:1	無希釈	0.8	ヘラ、コテ ローラー	直ちに
メッシュシート 張り	補強シート メッシュUB	—	—	—	ローラー 押さえ	2時間以上
上塗り	ウッドプロテクト	A液:B液 5:1	無希釈	1.0	マスチック ローラー	最終養生 24時間以上
	ヨウ変剤	4~6%	—			

※ シーリング剤はノンブリードタイプのウレタン系または変性シリコン系を推奨します。

※ 塗布量は下地の吸込み度合いや状況によって多少の増減があります。

4. 材料荷姿

材料名	容量	標準塗り平米(m ²) / 缶(セット)
シーリング剤	—	—
エポロEプライマー	16kgセット	80
補強シート メッシュUB	100m巻き(幅1100mm)	—
ウッドプロテクト	18kgセット(A液:15kg/B液:3kg)	10
建材ヨウ変剤	5kg	—

5. 注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度85%以上、降雨、降雪、結露が予測される場合には施工を避けてください。
- 材料は使用前に均一な状態になるように十分に攪拌してください。
- 2液型の材料は、A液・B液等の調合を正確に行い十分に攪拌してください。
- 耐候性が必要な場合には、トップコートが必要となります。
- 材料の保管・取り扱い、消防法・労働安全衛生法等に基づき管理を行ってください。
- 材料に関する詳細情報につきましては、製品カタログ・SDS(安全データシート)をご参照ください。
- ウッドプロテクトの施工については、屋根のある屋内にて直射日光を避けて塗装してください。